



電友会 会員の皆さんへ

発行者 電友会本部
東京都新宿区西新宿3-19-2
NTT東日本本社ビル内
TEL 03-5359-6969
発行責任者 電友会本部
理事事務局長 青野 信雄

令和二年度電友会本部評議員会（書面開催）

鈴木会長あいさつ



電友会会員の皆様ご協力ありがとうございました。
私は今回の評議員会をもって会長の役目を辞します。六年の長きにわたり、全国の電友会の場でたくさんの方々と知り合い、各地の皆さんとお話しできたこと、磨きをかけた演技や作品を鑑賞できたこと、何よりも会員の皆様の温かい心に触れたことなど大変楽しく幸せに過ごせたことに感謝申し上げます。

電友会は成り立ちから、それぞれの地方本部が特徴を活かした運営をすることを原則としてきました。私はこれの尊重を第一義としたうえで、会の一層の活性化のためには、全国共通の課題への対処、有益な事象についての情報共有化が本部の役割であると考えてきました。情報共有のウェブを整える、女性の会を設ける、男の料理教室を開くなどの企画を相談し、各地方がそれぞれの活動に加えて展開していただきました。ここ数年の電友会活動は三本の柱で成り立っていると申し上げてきました。繰り返しになりますが、第一の柱は「人と人とのつながりを強めること」、コミュニケーションを大切にしてお互いの絆を確認することです。集いに顔を出し、レク、サークルに参加することで仲間との触れ合いから心身の健康づくりをしていくことです。この柱は今回の新型コロナウイルス感染症の強襲で、自粛とソーシャルディスタンシングなどの事態で事実上実施不能になりました。さらに、このウィルスに侵されると高齢者は格段に重篤化してしまいます。この感染症の脅威はまさに会員の健康と生きがいのために行動する電友会にとっても存在をかけての戦いとなります。どうぞ、電話、ビデオ会議、会報を使うことで会の機能を維持していき、暗いトンネルを抜けたのちに全面的に本来の活動に戻るよう願っております。

二本目の柱は電友会が社会に向かって胸の張れる「ボランティア活動」です。毎年表彰式を迎えるたびに受賞者の長期にわたって社会に貢献する情熱と強い意志に圧倒され感激をしてきました。多くの方が社会に貢献する立派な功績を上げておられ、電友会の誇りであります。我々の故郷NTTはこれまでの社会貢献CSRをさらに進めてSDGsを目標に掲げて社会的責任を果たすこととしています。電友会はボランティア活動のさらなる発展形をめざしてNTTグループ各社に協力することが期待されます。

三本目の柱は「就労支援」です。本事業はNPO「アクティブシニア支援機構（ASO）」との協力のもと電友会会員の就労を実現しております。厚生労働省の三年間の事業支援を経て今年度は完全自立が可能になってきました。就労人員は現在350人に達しましたが、更に新しい就労先の開拓、新しい研修、事業拡大を行い、電友会会員の要望に応えたいと思います。

これら三本の柱は皆さんの活躍によって立派な成果を上げることができました。改めてお礼申し上げます。

最後に、電友会は会員の減少に悩んでまいりました。原因の一つがNTT事業の発展、特に組織再編に対応しきれなかったことにあります。十年前のドコモ同友会の設立を最後に、新しいグループ会社の子どものOB・OGが電友会に加入しないという状況がありました。過去二年にわたりこの課題の解決に努めて来まして、NTTの協力のもと前進を図ることができました。先日、NTTコミュニケーションズから新たな地方本部設立の要請が寄せられ課題の一部が解決することになります。

この六年間有意義に仕事をさせていただきました。ここで肩の荷を下ろせます。
「ご協力ありがとうございました。」

電友会役員

会長	高部 豊彦
副会長	片山 泰祥（本社地方本部長）
副会長	大木 一夫（関東地方本部長）
副会長	西尾 彰夫（関西地方本部長）
副会長	山田 隆持（ドコモ地方本部長）
理事	前田 幸一（東京地方本部長）
理事	南 節子（関東地方本部副本部長）
理事	戸津 勝洋（信越地方本部長）
理事	奥野 洋一（東北地方本部長）
理事	伴 秀実（北海道地方本部長）
理事	中田 晴夫（関西地方本部副本部長）
理事	岡本 金久（東海地方本部長）
理事	川守 祐市（北陸地方本部長）
理事	安達 嘉男（中国地方本部長）
理事	小田 尚見（四国地方本部長）
理事	熊本 敏彦（九州地方本部長）
理事	仲本 榮章（沖縄地方帆部長）
理事	青野 信雄（本部事務局長）
監事	吉村 辰久（東京地方本部副本部長）
監事	加藤 敏行（東海地方本部副本部長）
相談役	村上 治
相談役	林 豊
相談役	青木 利晴
相談役	鈴木 正誠

高部新会長あいさつ



このたび鈴木会長の後任を務めさせて頂くことになりました高部豊彦です。

ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

電友会は、NTTグループのOB・OGの集まりとして、会員の皆様方が、生き甲斐を持つ健康で充実したシニアライフを過ごして頂けるようにとの基本的考え方に則って活動しており、その活動は会員の皆様全員の交流参加によって支えられています。具体的な活動は各地方本部、支部等が担われており、その担い手の多くは、各組織の役員や会員の皆様のボランティアとしての奉仕によって支えられています。これらの方々に心より感謝申し上げますとともに、今後とも多大なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

これまでの電友会の取り組みを継承していくとともに、社会環境の変化に柔軟に対応し、会員の皆様のニーズの把握に努めつつ、更に充実したシニアライフに寄与できるよう微力ながら尽くして参る所存ですので、会員の皆様方、NTTグループ各社の皆様方の一層のご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

NTT団体扱火災保険のご案内

自然災害・地震への備えは万全ですか？

水災



雪災



突風



地震



近年、自然災害による家屋の損害が増加していること、また大型地震の発生も想定されていることから備えが必要です。

NTT団体扱火災保険はきらら保険サービスまでお問い合わせください！

キャンペーン実施中！

火災保険のお見積り依頼（無料）された方へ

オリジナル防災セットをもらえなくプレゼント！

セット内容

- 非常用ブランケット
- 除菌ウェットティッシュ
- 水に流せるティッシュ



※商品は変更になる場合がございます。

＜お問い合わせ先・取扱代理店＞

NTTグループ総合保険代理店
きらら保険サービス株式会社

お客様コンタクトセンター

0120-590-251（受付時間）平日 午前9:00～午後5:00
（土・日・祝日はお休みさせていただきます）
■音声ガイダンスに従い、プッシュボタンを押してください。

きらら保険

検索

<http://www.ki-ra-ra.jp/>